

# 墨田区議会 自由民主党 だより



■発行／墨田区議会自由民主党(墨田区吾妻橋1-23-20) ■発行責任者／佐藤 篤 ※ご意見・ご要望をお待ちしております。

SUMIDA-KU ASSEMBLY LIBERAL DEMOCRATIC PARTY DENOMINATION REPORT

令和5年度がスタート

第20期新体制



小林しょう、加藤ひろき、堀よしあき、しもむら緑、福田はるみ、坂井ユカコ、井上ひろき、稲葉かずひろ、大門しろろ、たきざわ正宜、佐藤篤、藤崎こうき、あべよしたけ



墨田区議会  
自由民主党・無所属 幹事長  
佐藤 篤

先に行われました区議会議員選挙では、私たちへのご支援をいただき、誠にありがとうございました。今期は新たに「自民党・無所属」会派として、引続き所属議員13名の区議会最大会派を担うこととなりました。

このような中、所属議員全会一致のご推挙をいただきまして、再び幹事長に就任いたしました。コロナ対策では、全国に名を馳せました。住民の皆様が「墨田区に住んでいることが自慢」と胸を張って言っていただけのような行政運営をこれからも提案してまいります。

私たち自民党・無所属に、引続きの住民の皆様のご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



墨田区議会議員長  
福田 はるみ

この度の招集議会におきまして、第74代墨田区議会議員長に就任をさせて頂きました。私は、区議会の代表者として、次の取組を実践してまいりたいと考えております。

第一に、区民の皆様にとって分かりやすい議会の実現を目指し、委員会運営の効率化など、更なる議会改革を進めるとともに、墨田区

議会にもっと親しみを持ってもらえるように努力してまいります。第二に、自治体DXを推進し、皆様にとって便利な行政手続を検討してまいります。そして第三に、何より、私たち議員が一丸となって区民の皆様方に「墨田区で生まれて良かった・住んで良かった」と思っていただけのような「区民満足度100%」のまちを目指してまいります。

# 令和5年度常任委員会と特別委員会

## 6月議会の注目議

### 企画総務委員会

区政の総合的な計画、広報広聴、組織、予算、公共施設等マネジメント、財産管理、契約などに関する事項を議論します。



写真左より/井上ひろき 委員、しもむら緑 委員長、佐藤篤 委員、小林しょう 委員

#### すみだ女性センター条例の一部を改正する条例(案)について

施設の名称を「すみだ女性センター」から「すみだ共生社会推進センター」に改めるとともに、男女共同参画施策の推進拠点として位置付けるほか、区外利用者の使用もできるように適用範囲の拡充が令和6年度から図られます。施設使用にあたっては、区内団体登録者優先を求めました。

#### 庁舎の1、2階及びすみだリバーサイドホールの改修に係る検討の進捗状況について

食堂が廃止になり、旧食堂ではお弁当等の販売が行われていますが、今後旧展示室と相互機能移転することが報告されました。食堂が閉店したこと、リニューアルすることを知らない区民の方も一定数おり、広報を強めていく必要性と、より充実したものにさせていただきよう求めました。

### 子ども文教委員会

子ども・子育て支援、児童の福祉増進、教育委員会、学校教育、文化財の保護に関する事項を議論します。



写真左より/藤崎こうき 委員、坂井ユカコ 委員長、堀よしあき 委員

#### 〔(仮称)すみだ子ども・子育て応援プログラム〕の策定について

区は「こどもまんなか社会」の実現に向け、切れ目ない子育て支援を推進する事等を目的に、「すみだ子ども・子育て応援プログラム」の策定を進めています。我が会派は、計画における子育て世帯への住宅施策の反映や、放課後の子どもの居場所確保について求めました。

#### 認可保育所等ICT化推進事業について

区内の認可保育所等において、登降園管理システムや入退館管理システムの導入等のDX推進を図るため補正予算が組まれました。私たちは、各園における更なるICT化の推進や、先行してICT化の導入を図った園への助成を求めました。

## 令和5年度 会派執行部 及び議会運営委員会

2023 new organization



写真左より/たきざわ正宜 副幹事長(委員)、大門しろう 副幹事長(委員)、佐藤篤 幹事長(委員長)、あべよしたけ 副幹事長(委員)、藤崎こうき 副幹事長

議事日程、議案、質問の取扱いなどの議会の運営や会議規則、委員会条例等、議会運営全般に関する事項を協議、調査、審査します。

## 特別委員会 特別委員会も始動。

### 放課後対策・情緒障害児等支援対策特別委員会



写真左より/佐藤篤 委員、あべよしたけ 委員、加藤ひろき 副委員長、稲葉かずひろ 委員、坂井ユカコ 委員

子どもたちの放課後の居場所及び自閉症、情緒障害等支援学級の固定級設置等に関する事項を議論します。

区政にかかわる案件をより能率的、専門的に審査する為に、各議案は事務部門別に設置された4つの常任委員会に付託され、議論されます。各委員会での審査結果は、本会議で報告されます。また、特定の事件について調査するため特別委員会が設けられています。

## 論をピックアップ

2023 new organization

### 地域産業都市委員会

地域力支援、協治、文化・芸術・スポーツ振興、産業振興、経営支援、観光、市街地整備計画、防災、危機管理、道路、河川、公園、環境保全、清掃などに関する事項を議論します。



写真左より/たきざわ正宜 委員、大門しろう 副委員長、稲葉かずひろ 委員

#### ネーミングライツの実施について

墨田区総合体育館及び墨田区総合運動場を対象としてネーミングライツパートナーの公募を行うこととなりました。墨田区総合体育館は初のネーミングライツの実施となります。我が会派は選考方法やネーミングライツ料の妥当性などについて審議を行い、よりよい地域貢献及び歳入確保に寄与する取り組みとなることを求めました。

#### 廃プラスチックの分別収集・再資源化モデル実施について

令和6年4月から区内全域で実施となる廃プラスチックの分別収集・再資源化について、令和5年10月からモデル実施となる6地区、約3万世帯に対して、十分な説明や周知を行い、区内全域実施に向けて円滑に移行できるよう強く要望を行いました。

### 区民福祉委員会

戸籍、国民健康保険、後期高齢者医療、国民年金、税務、障害者福祉、高齢者福祉、介護保険、保健衛生、健康づくりなどに関する事項を議論します。



写真左より/福田はるみ 委員、あべよしただけ 副委員長、加藤ひろき 委員

#### 公衆浴場物価高騰対策緊急支援金給付事業費

一般会計補正予算(第4号)において、公衆浴場の物価高騰対策緊急支援金として東京都からの補助金とは別に再び墨田区からも支援金を準備することとなりました。

7月1日より520円に値上げが行われましたが、燃料費を含む物価高騰により苦しい経営状況ですが、大切な公共の場が続くよう私たちも努力します。

#### フードパントリー等に対する利用環境整備補助

墨田区内で子ども食堂、地域食堂が13団体、フードパントリーが4団体の合計17団体あります。『夏休みの給食がなく、1人で昼食を取らなければならない』などを解消するための重要な活動です。子どもたちだけにとどまらず、地域の方々も同じサービスを受られるような活動がさらに広がっていくよう私たちも努力します。

特化した分野で区政の課題に取り組みます。

2023 new organization

### 公園の在り方調査・災害対策特別委員会



写真左より/堀よしあき 委員、藤崎こうき 委員長、福田はるみ 委員、大門しろう 委員

魅力ある公園づくり及び水害対策等に関する事項を議論します。

### 自治体DX調査特別委員会



写真左より/しもむら緑 委員、たきざわ正宜 委員長、井上ひろき 副委員長、小林しょう 委員

自治体の情報システムの標準化・共通化、自治体における行政手続のオンライン化等DXに関する事項を議論します。

# 本会議での質問一覧



墨田区議会  
自由民主党・無所属 幹事長  
**佐藤 篤**

佐藤 議員の全動画を  
8 ページのQRコードから  
ご覧になれます。

## ■学校給食費の徴収免除を

**問1** 喫緊の物価高騰対策及び子育て支援という観点から、現在徴収している学校給食費を徴収しない、いわば当面の間、「学校給食費の徴収免除」を行うべきではないか。

**答1** 物価高騰により、特に子育て世帯の教育にかかる経済的負担の軽減を図り、子どもの健やかな育ちを確保することが、喫緊の課題となっている。これまで実務上の課題や効果を比較検討してきた結果、指摘のように学校給食費を徴収しないことが有効な方策であると考へ、これを9月議会に提案する。

**問2** こどもまんなか社会を実現するためには、私立学校に通学する子どもたちについても同様の支援を行う必要がある。公立学校の給食費の徴収猶予を行う場合、同様の金額を私立学校に通学する児童・生徒の家庭にも支給すべきかと考へるが、どうか。

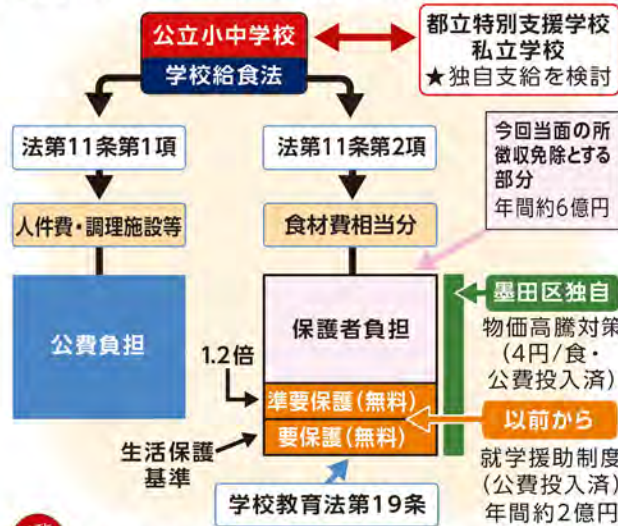
**答2** 物価高騰対策として、子育て世帯の負担を軽減するという観点からは、区立小中学校以外に通う子どもへの家庭への対応も、併せて検討する必要がある。子どもの健やかな育ちを支える施策として、実務上の課題を整理しながら、適切な支援のあり方について検討していく。

**問3** 物価高騰対策としては、就学援助基準の引上

げも検討すべき局面にあると考へる。併せての検討を求めるがどうか。

**答3** 現行の就学援助基準は、引き下げ前の第68次生活保護基準の1.2倍としているが、社会保障審議会での議論を踏まえ、本年、生活保護基準の改定が行われるので、国や都、他区の動向も注視しながら、政策効果も見極め、就学援助基準のあり方について検討していく。

## ■墨田区の学校給食費の徴収免除



7 ページ「区政トピック」の特別解説もご覧ください。

## ■子どもの放課後対策を

**問1** 子どもの放課後対策について、場所や人員の都合上、学童クラブに依存した放課後対策は最早限界に近づいているのではないかと感じる。こうした観点から、放課後の補習学習の充実や放課後子ども教室の抜本的拡充、民間事業者への補助も含めた、これら以外の居場所づくりを総合的に検討する必要があると考へる。区長及び教育長が連携して取

り組むべきと考へるがどうか。

**答1** 保護者の就労状況等に関わらない放課後の居場所づくりに向けては、役割分担を踏まえた民間事業者の活用や、学校施設のさらなる利用など、今年度、教育委員会とともに有識者を交えた検討委員会を設置し、検討を進めていく。

## ■副区長を2人に

**問1** 現任の事務の最高責任者のほか、もう一名、喫緊の課題に対応する専門的知見を有する者で、必要に応じて国や東京都とも直接折衝を行い、区長を補佐することのできる副区長を置くべきではないか。

**答1** 行政課題が複雑・高度化し、業務量も増加してきていることから、副区長の職責の重要性は、さらに高まっている。今任期中に副区長を複数選任することについて、判断していく。

## ■ポスト・コロナの健康政策について

**問1** ポスト・コロナの健康政策について、①口腔環境への影響はないか。②保育・教育環境についてはどうか。③高齢者についても対策を行っていく必要があるのではないか。

**答1** ①歯科健康調査のデータを比較すると、コロナ前とコロナ後で大きな変化はないが、引続き歯科医師会等と連携し、これらの取組みを進めていく。②遊びの時間や体育学習における運動量の低下が見られたり、熱中症へのリスクが高くなったり、口元がマスクで隠されることによって、相手の表情が分かりにくくなり、対話などのコミュニケーション能力の育成にも影響があった。あらゆる機会を活用して、意図的・計画的に体験活動を取り入れていく。③高齢者の活動や、交流機会が減少したことにより、運動能力やコミュニケーション力の低下が懸念されている。介護予防事業を積極的に推進していく。

本会議の各議員の全動画を墨田区議会のホームページ・すみだ自民党チャンネルからご覧になれます。8 ページのQRコードをお使いください。

### 一般質問



墨田区議会議員  
井上 ひろき

井上 議員の動画を  
8 ページの  
QRコードから  
ご覧になれます。

#### ■庁内のデジタル推進に掛かる費用について問う

問1 ①すぐにでも、庁内全てのシステムでの稼働状況を一覧化し可視化すること

②システムの統廃合を視野に入れた庁内全体のシステムの総点検をすること

答1 現在、稼働状況の一覧化は行っていないませんが、可能な範囲で可視化を検討していきます。システム統廃合の推進については、文書や財務等の内部事務を共通

### 一般質問



墨田区議会議員  
加藤 ひろき

加藤 議員の動画を  
8 ページの  
QRコードから  
ご覧になれます。

#### ■キャッシュレス決済促進・ポイント還元事業について

問1 これまで約60億円近い経済効果を生み出すなど大きな成果を上げてきた。しかし売り上げデータが活用しづらい現状や区外へ還元ポイントが流出してしまっていることなど、区内事業所での消費喚起という面から見ると課題もあると考える。区独自の決済プラットフォームを本区においても導入の可能性はあるのか。

答1 現在、先行自治体等の情報収集を行い、様々な側

基盤で管理するシステムを導入するとともに、ネットワーク環境や仮想環境サーバ等の共通利用を進め、コストの圧縮に努めています。

#### ■システム調達の方法の見直しについて問う

問1 ①アジャイル型の開発手法のメリットを享受できるように、契約フローの見直しを実施すること

②実際にアジャイル開発を取り入れて検証してみること

答1 区の情報システムの多くは、法令の基準等に基づく業務で使用すること、最初から高い品質とセキュリティを担保する必要があることから、ウォーターフォール方式で調達しています。現時点でアジャイル開発をガイドラインに取り入れて実証実験を行うことは難しいと考えますが、都をはじめ、先進自治体で実施されている実証実験の動向を注視するとともに、区民サービス向上のため、利活用できる有効な分野や手法について、検討していきます。

面から研究を行っているところである。本区への導入の可能性について、政策効果も勘案し、判断していきたい。

問2 第4弾では8億円近い執行額であったが第5弾の当初予算は4億4千万円である。コロナも5類相当となり、人流や消費行動も活発になる中で、現在の予算規模で不足なく十分な効果を期待できるものなのか。

答2 一定期間の実施の担保や、商店街の組織力強化につながる内容とするために、今定例議会での追加の補正予算をお願いしている。

問3 この事業は墨田区商店街連合会への補助事業であるが、一律の条件で実施されてきた。商店街会員の皆様の組織をより一層強化するためにも、非会員事業者への最低限のメリットを確保したうえで、商店街の皆様に配慮し還元率に差をつける等のスキームの構築が必要ではないか。

答3 第5弾の実施に当たっては、還元率に一定の差を設け、商店街への加入を促進するような事業スキームを計画しており、今後、墨田区商店街連合会と協議・検討していく。

#### ■デジタル人材の教育及び採用について問う

問1 ①ジョブ型雇用の採用を実施すること

②積極的に「GovTech東京」と連携すること

③RPAを全職員が利用できるようにすること

④生成型AIのような新しい技術を職員が積極的に活用できるようにすること

答1 デジタル人材の強化にあたっては、まずは、GovTech東京と連携しながら、採用手法も含めて検討していきます。RPAは、大量の単純作業が繰り返して発生する場合に導入効果が期待できるため、今後も積極的な活用を推進するとともに、職員の育成に努めていきます。ChatGPTに代表される生成系AIは、文書校正や要約など、自治体業務での活用も期待されています。国や先行する自治体の動向を注視しつつ、活用のルールや必要なスキルの育成など、今後、具体的な検討を進めていきます。

#### ■子育て環境について

問1 公園の整備について問う。現在ボール遊びができる公園は一部に留まるうえ、あらゆる年代層の方それぞれの利用方法があり、求める理想像は異なる。現状アンケート等でニーズを反映した整備を進めているが、どの公園も似たような公園になってしまいうことが懸念される。単純に回答数の多かつたものを「ニーズが高い」と捉えるのではなく、複数の公園をブロック化しその中で機能を割り振り、区内どのエリアでもお子様から年配の方まで、需要にあつた公園を提供し満足度の高さにつなげ、墨田区ならではの特色として頂きたいと考えるが区長のご所見を伺う。

答1 ご提案のように公園等のグループ化や機能の配置等についても検討しています。プラン改定に当たり子どもを含む区民の皆さんの意見を丁寧に聴きながら、それぞれの機能や特性を活かした、誰もが快適に利活用できる公園等の整備に資するよう、進めていく。

## 一般質問



墨田区議会議員  
稲葉 かずひろ

稲葉 議員の全動画を  
8 ページの  
QR コードから  
ご覧になれます。

### ■本区のファミリー向け住宅の整備について

問1 0〜4才の子供を持つ世帯の転出超過が最も多く、区外転出の理由で最も多い回答が「住宅が狭い」「住宅の都合」です。本区には広さのあるファミリー住宅が少ないこと、それが原因で子育て世帯が転出してしまっていることに関して、区長のお考えと対策があればお聞かせ下さい。

答1 子育て世帯の区外転出は、複合的な要因があると考えます。その要因を分析し、良質な住宅の供

給を誘導しています。また、子育て世帯がそれぞれの家族構成に応じた住まいを選び、住み続けることができる循環型の住宅施策を推進していきます。

### ■墨田区集合住宅条例について

問1 ファミリー世帯定着を目的として、今後は墨田区集合住宅条例を改正し、誘導居住面積水準(75㎡)を参考に広さのある住戸を増やしていく必要があると考えますが、区長の見解をお伺いします。

答1 比較的敷地規模が狭小な建築計画が多い本区の特性上、現時点において本条例の改正は難しいと考えています。

### ■民間賃貸住宅転居転入支援制度について

問1 本年3月末までは「民間賃貸住宅転居転入支援制度」がありましたが、現在は終了しています。まずは広い住戸の確保が必要と考えますが、その後において住居費用に関する課題が出てきた場合においては、再度支援制度を検討いただけますでしょうか？

答1 民間賃貸住宅転居転入支援制度については、検証を行った結果、制度の見直しを行ったところですが。ご提案の、広い賃貸住宅に転居した方への家賃助成については、今後研究していくとともに、子育て世帯の定住促進に向けた住環境整備については着実に推進し、検証していきます。

### ■本所吾妻橋駅周辺の自転車駐車場整備について

問1 本所吾妻橋駅周辺の自転車駐車場に関して、今後再整備、移転の計画はありますか？また、区が民間の自転車駐車場設置を支援する仕組みを作り、歩道上にある自転車駐車場の代替え地として活用することを検討すべきと考えますが、如何でしょうか？

答1 現時点では現状の位置で適切に管理しながら運営していきますが、引き続き、更なる適地の確保についても検討していきます。

自転車駐車場の設置や運営における民間活用は、助成制度を検討することとしていますので、早期の実現を目指していきます。

## 一般質問



墨田区議会議員  
小林 しょう

小林 議員の全動画を  
8 ページの  
QR コードから  
ご覧になれます。

### ■八広駅周辺のまちづくりについて

問1 ①八広駅は駅前広場等が整備されることもなく、駅舎下は自転車駐車場やドラッグストアが展開されるにとどまっているのが現状。また、駅の出入口は補助第120号線から荒川方面へ向かう奥まった場所に位置し、街の玄関口としての駅の機能を十分に果たしているとは言えず。連続立体交差事業の候補区間に位

置付けられた鐘ヶ淵駅や、駅前交通整備事業が完了した京成曳舟駅といった周辺駅と比べ、20年以上前に高架化された八広駅周辺だけが取り残されている印象を受ける。区長の認識は。②八広駅周辺の今後の展望について。区はかつて「八広駅前地区整備計画」を作成し、具体的な八広の未来図を地域の皆様と検討していた時期がある。そのことを鑑みると、現在はまちづくりが停滞している印象。今後、区として八広駅周辺をどのような街にしていきたいのか。所信表明でも言及された「10年後・20年後のすみだの未来、次世代へとつながるまちづくり」を踏まえた区長の見解を。

答1 ①補助第120号線の拡幅工事が進む中、これから駅周辺の利便性の向上が期待できるまちであると認識。一方で、高架下のさらなる活用や駅出入口へのアクセスなど、課題もあると考える。②今後、地域の合意形成が図られることが重要。荒川河川に隣接しているという特性や、近年の生活様式の多様化に伴う都市基盤需要の変化などを踏まえて、将来を見据え生活

拠点として、都市計画マスタープランに基づき、高架下の活用や補助第120号線沿道のまちづくりを促進し、商業やサービス機能の整備・育成を図る必要がある。住商工が共存する街並みづくりを推進するため、今後とも、地域や鉄道事業者をはじめ、関係者間の調整に努めていく。

問3 八広中央通りは、いまだに自転車走行帯が整備されておらず、歩道が非常に狭いため対面で行き違うことも困難。自転車と自動車接触する危険があり、実際に事故が発生したという情報も。安全安心に通行できる環境を整えるため、自転車走行帯の整備を含め、道路空間を早急に見直す必要があると考えますが、区長の見解は。

答3 ご指摘のとおり、自転車通行帯などはなく、歩道も狭いため、歩行者や自転車の通行に課題があると認識。区の南北を結ぶ主要な路線の一つであり、今後、歩道のバリアフリー化や自転車通行空間整備など、安全で快適に通行できる道路とするための検討を進めていく。



**Topics 4** 図書カード(こども商品券)配布について

物価高騰対策、子どもの学び支援の一環として、区内在住の0歳～18歳までの方に対して1万円分の図書カード(未就学児はこども商品券も選択可)を配布する予定です。

物価高騰により学びの機会が失われないよう、引き続き支援策を検討していきます。



**Topics 5** 給食費に幹事長 代表質問 **特出し解説**  
対するわが会派の考え方

区立小中学校の給食費は、学校給食法第11条の規定により、調理施設や人件費相当分を区が、食材費相当分を保護者が負担すると規定されています。

保護者負担分のうち、低所得世帯については、以前から就学援助制度として無料しており(公費負担)、更にこの間の物価高騰対策として、食材費(1食4円相当分)を公費投入してきました。このため、物価高騰下にあっても、墨田区の学校給食費は値上げをしておりません。

民間の調査結果では、塾や習い事をやめた、学用品を買控えた、など影響が顕著となっていることから、私たちは、これらに対するクーポン等の支給を検討してきました。しかし、実施経費が多額で支給時期が遅れてしまうことから、「一時的に学校給食費を徴収しない」ことにより、浮いた分のお金を、子どもの学習や体験に回していただこうと提案しました。

他方で、年間約6億円の区独自の追加負担は、財政的課題があります。私たちとしては、国や都による財源負担を求めています。

なお、私立学校や特別支援学校に通う児童・生徒に対しても、所得制限なく同額の支援を行うよう求めています。



区政の最新情報をコンパクトにお知らせします!

**Topics 1** 自転車ヘルメット購入補助  
自転車用ヘルメット購入助成制度について

本年4月から、自転車に乗る人はヘルメットの着用が努力義務化されています。それに伴い、墨田区ではヘルメット購入に対して1個当たり2,000円の助成が行われます。また、我が会派の提案により、一定の条件の下、既に購入した方にも同様の助成が行われる予定です。是非ご活用ください。



**Topics 2** 7月から始まる  
墨田区LINE公式



**墨田区公式LINEアカウントがスタート!**

令和5年7月3日から、墨田区公式LINEアカウントがスタートしました。区民の皆様が区政情報に容易にアクセスできるようになるとともに、登録者のニーズに応じた情報を即座にプッシュ通知型で配信していきます。

さらには安全安心メールやきずなメールとの連携も行うなど、広報広聴機能の強化とシティプロモーションのさらなる推進が図られることを期待しています。



**Topics 3** PaPayポイント  
還元キャンペーン(第5弾)決定!

会派からは、第4弾のように期間途中にキャンペーン終了とならないように求め、この度追加予算が決まり、大々的に始まります!

- ・期間: 8月19日～9月30日
- ・付与上限: 3,000円相当/回、12,000円相当/期間
- ・還元率: 最大30%

※還元率は店舗により異なりますので、ご利用の際はご注意ください。



# すみだ区議会 自由民主党 所属議員紹介



坂井ユカコ

- 子ども文教委員会 委員長
- 放課後対策・情緒障害児等支援対策特別委員会

☎ 東駒形2丁目2番4号  
☎ 090-3617-4313



しもむら緑

- 企画総務委員会 委員長
- 自治体DX調査特別委員会

☎ 亀沢4丁目22番8号 608  
☎ 080-2443-0212



佐藤篤

- 自由民主党・無所属 幹事長
- 議会運営委員会 委員長
- 企画総務委員会
- 放課後対策・情緒障害児等支援対策特別委員会

☎ 京島3丁目9番10号 101  
☎ 090-8567-8293



福田はるみ

- 墨田区議会 議長
- 区民福祉委員会
- 公園の在り方調査・災害対策特別委員会

☎ 業平4丁目5番16号  
☎ 03-3618-6125



大門しろう

- 自由民主党・無所属 副幹事長
- 地域産業都市委員会 副委員長
- 議会運営委員会
- 公園の在り方調査・災害対策特別委員会

☎ 文花2丁目3番7号  
☎ 080-4128-6594



堀よしあき(無所属)

- 子ども文教委員会
- 公園の在り方調査・災害対策特別委員会

☎ 墨田4丁目19番10号  
☎ 090-7218-9569



藤崎こうき

- 自由民主党・無所属 副幹事長
- 公園の在り方調査・災害対策特別委員会 委員長
- 子ども文教委員会

☎ 向島5丁目43番18号 1F  
☎ 080-4354-1602



たきざわ正宜

- 自由民主党・無所属 副幹事長
- 自治体DX調査特別委員会 委員長
- 地域産業都市委員会
- 議会運営委員会

☎ 墨田5丁目34番11号  
☎ 03-5247-5202



稲葉かずひろ

- 地域産業都市委員会
- 放課後対策・情緒障害児等支援対策特別委員会

☎ 吾妻橋1丁目23-20(自民党控室)  
☎ 080-9462-1989



加藤ひろき

- 放課後対策・情緒障害児等支援対策特別委員会 副委員長
- 区民福祉委員会

☎ 東向島3丁目15番21号 502  
☎ 090-5399-0322



井上ひろき

- 自治体DX調査特別委員会 副委員長
- 企画総務委員会

☎ 文花2丁目4番7号 2F  
☎ 070-8998-9021



あべよしたけ

- 自由民主党・無所属 副幹事長
- 区民福祉委員会 副委員長
- 議会運営委員会
- 放課後対策・情緒障害児等支援対策特別委員会

☎ 京島3丁目53番2号  
☎ 090-9324-1582

スマホやパソコンで議会活動をご覧ください。



会派ホームページ



facebook

▶ 本会議の  
全動画はこちら！



墨田区議会の  
ホームページ



すみだ自民党  
チャンネル

お気軽にご意見をお寄せください。  
**墨田区議会自由民主党**

<http://jimin-sumida.jp/>



小林しょうご

- 企画総務委員会
- 自治体DX調査特別委員会

☎ 東向島6丁目45番7号 801  
☎ 090-8174-1663